

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

『無断転載禁止』

レジメン番号 : BRST-151

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん	PHESGO+ Eribulin	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	軽度	The Breast 35: 78-84, 2017 WO40324試験(FeDeriCa試験) Tan AR, et al. Lanc Oncol.2021;22(1):85-97.

〈注意事項/備考〉

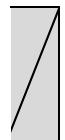
✓

- ✓ フェスゴ：投与部位は大腿部のみであり、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離れた場所に投与すること
 - ✓ ※フェスゴ投与後の生理食塩液は、初回のみ30分、2回目以降は15分まで短縮可能
 - ✓ Eribulin：制吐療法：嘔気/嘔吐が出現した場合、次回よりDEX、5HT3拮抗薬の予防投与を検討
 - ✓ 末梢神経障害（Eribulin）：四肢の知覚異常が主体、疼痛を伴うこともあり
 - ✓
-

:»



set



[redacted]